

# 男女平等教育学習資料 活用の手引き (改訂版)



## 男女平等教育の推進と人権教育の一層の推進を

新潟市教育委員会  
教育長 前田 秀子

平成 17 年 4 月 1 日付けで男女共同参画の推進に関する基本理念と責務を明らかにした「新潟市男女共同参画推進条例」が施行されました。また、平成 28 年 4 月 1 日には、「第 3 次 新潟市男女共同参画行動計画」を策定しています。その策定で、男女共同参画推進のための意識啓発を挙げ、「保育・学校教育における男女平等教育の推進」を具体的取組としました。

教育委員会では、新潟市が目指す男女共同参画社会づくりのためには、児童生徒一人一人が「自分らしさ」を大切に、性別にとらわれずに自分の個性と能力を發揮できるようになることが大切だと考えています。特に、「自分らしさ」を生かしてどのように生きるか未来を思い描き希望をもつことを重視しています。同時に他の人の「その人らしさ」も大切にすることを育むことも大切です。この度、これらのことを効果的に指導するために、学習資料及び活用の手引きを改訂しました。作成に当たっては、今まで同様に新潟市男女平等教育研究推進研究会からのご提言を受けています。

各学習資料を活用することにより、学校教育全体を通して、男女平等教育の着実な推進と人権教育の一層の充実を図り、児童生徒が生き生きと過ごせるよう願っています。

新潟市教育委員会では、このたびの学習資料及び活用の手引きの改訂に伴い、CD によるデータ配布をすることといたしました。コンピュータと大型テレビ等を利用して、カラーで大きく映し出すことも可能です。各学校の年間指導計画に合わせて、「小学校 3 年生」「小学校 6 年生」「中学校 2 年生」を主たる対象とした 3 種類の学習資料について今まで以上に積極的な活用をお願いします。また、男女平等教育の推進にあたっては、家庭の理解が大きな後押しになります。学習資料を活用して保護者の協力を得ながら進めていただけますよう併せてお願いします。

新潟市教育委員会

# 小学校3年生用「男女平等教育」学習資料

## 「らしさってなあに？」

### 活用の手引き

#### 使い方について

「らしさってなあに？」の指導は、学級指導や道徳、総合的な学習の時間に取り扱うことが可能です。年間の行事や学級の実態に合わせ適切に適時指導すると効果的です。活用にあたっては、次のような場面を想定しています。

- ・学級活動の時間にキャリア教育や、人権同和教育に関連して指導する。
- ・道徳科の内容項目で「個性の伸長」「相互理解・寛容」「公平・公正・社会正義」に関連付けて指導する。
- ・総合的な学習等では、友だちと協力しながら活動する場面等で指導する。



#### 1 Pの題材について

色、遊び、服装（髪型）などに関わり「男らしさ」「女らしさ」が話題になりがちな場面を取り上げています。返答を考えたり話し合ったりする中で、身の周りに「男らしさ」「女らしさ」という性別に基づく差別や偏見があることに気付かせます。



#### 2 Pの題材について

家庭生活において、「女の子なんだから～」「男は～するもの」と言われる場面を取り上げています。自分に立ち返って、他の場面でも似た経験はないか想起させ、「自分らしく」とはどうすることか話し合わせます。

## 「わたらしさ」を大切にしよう

中 あなたは どんな 大人に なりたいですか。

わたしは  
算数が好き。  
計算が早い  
大人になったら、  
ビルや大きな橋を  
つくりたい。

あやかさん

ぼくは  
音楽が好き。  
とくにピアノを  
ひくことが好き。  
将来はピアニストに  
なりたい。

ひろしさん

中 これを聞いた友だちが話しています。( )の中に、そう思うものに○、  
そう思わないものに×をつけてみましょう。

か仕事は  
男の方がむいてるよ。  
工場現場に女の人  
なんてきかない。

ゆうきさん

自分の好きなことを  
仕事にできるなんて  
すてきなね。

みほさん

音楽が好きなんて  
女っぽいね。ピアノを  
ひいているのは、女の人  
ばかりでしょ。

りょうたさん

**あなたらしさを大切にしていきたいと思います。**

あなたは どんなことが好きですか。将来、どんな仕事をしたいですか。

好きなこと

将来の夢

おうちの人が、応援メッセージを書いてもらいましょう。

## 自分らしい生き方をえらんだ人々

**バス運転士**  
宗村 麻樹子 さん

宗村さんは旅行会社に勤めていましたが、友人の勧めもあり、バスの運転士を目指しました。就職先が決まると、大変な練習が待っていました。バスの運転で最も気を付けていることは、乗内乗客の安全です。ブレーキを踏むときも乗客の注意を払います。お客様から「ありがとうございます」と声をかけられることが一番うれしいです。宗村さんは、乗客の安全にも気を配っています。これからも、安全に注意し、お客様に保護されたのを楽しんでいきたいです。

**幼稚園教諭**  
田口 球望 さん

小さい子どもたちが大好きで、子どもたちとかわる仕事に就きたいと思いました。幼稚園教諭を目指したのは、音楽やピアノが好きで、幼稚園時代の教師との出会いがあったからです。宗村さんの子どもたちは、キラキラした目で、毎日さんさん話しています。宗村さんは子どもたちと一緒に、みんなの仲を大切に育てたいと思っています。幼稚園の先生はとてもしっかりな仕事で、この職業をこれからも好きでいたい。子どもたちの成長を願っています。

**保護者の皆様へ**

なぜ男女平等教育を推進教育でなければならぬのか、それは子どもたち一人一人の夢を実現していくからです。夢や個性はいろいろな職業があります。子どもたちが夢や個性を実現する機会を大切に育てたいと思います。その中で「自分らしさ」といふことで夢や個性を実現される。子どもは夢を持つことをサポートしています。子どもが心にある夢や個性が育ちます。子どもが心にある夢や個性を育てることも、子どもが夢や個性を実現することです。子どもが夢や個性を実現することです。子どもが夢や個性を実現することです。子どもが夢や個性を実現することです。

### 3 Pの題材について

自分の好きなことや得意なことを頑張り、将来につなげていくことは「自分らしさ」を大切にすることに気付かせます。自分の将来の夢を考えさせ、保護者からもその夢を応援してもらう欄を設けています。

### 4 Pの題材について

自分らしい生き方を選んだ、バス運転手の宗村さんと、幼稚園教諭の田口さんを紹介し、性別にとらわれず夢を実現させ、個性と能力を發揮して働く姿から、自分らしさを大切にしようとする気持ちを育んでいきます。

### 1 ねらい

学校や家庭などの日常生活や職業に関する固定的な性別意識について話し合い、「男らしさ」「女らしさ」といった考え方にとらわれず自分の好きなことや得意なことを伸ばしていくことについて考えることを通して、性別によらない「自分らしさ」を大切にしようとする心情を育てる。

### 2 展開 (3時間)

主な活動	留意点
<p>1 らしさってなあに？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3つの場面について、吹き出しの言葉を考える。学級全体で話し合う。</li> </ul> <p>2 男だから！？女だから！？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「男らしく」「女らしく」と言われたことはないか考える。</li> <li>「自分らしく」生活することのよさについて話し合う。</li> </ul>	<p>吹き出しを書き、話し合う中で、日常生活にある差別や偏見に気付かせる。</p> <p>p 2では、話し合いを大切にします。親は間違っているという極端な意識にならないように気を付ける。家族の一員として自分のできる手伝いを行ったり、得意なことを生かして豊かに生きようとする心情を高められるようにする。</p>
<p>3 「わたらしさ」を大切にしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あやかとひろしの考えを知る。</li> <li>ゆうき、みほ、りょうたの意見について考える。</li> <li>自分の好きなことや夢を考える。</li> </ul>	<p>ゆうき、りょうたの意見は差別につながる偏見があることを理解させる。さらに自分の好きなことを生かして将来を考えることは「自分らしさ」を大切にすることであると気付かせる。</p>
<p>4 自分らしい生き方をえらんだ人々</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料の2人の選んだ生き方を読む。感想を話し合う。</li> <li>「自分らしさ」を發揮して生きることの大切さを知る。</li> </ul>	<p>性別に関係なく、自分の得意なことや興味のあることを生かして職業選択するよさに気付かせ、自分の将来の夢について考えさせる。</p>

# 小学校6年生用「男女平等教育」学習資料

## 「自分らしく」 活用の手引き

### 使い方について

本学習資料は、身近な日常場面で起こりうる偏見や差別、職業に関する偏見や差別を取り上げながら、「男らしく」「女らしく」といった考え方にとらわれず、「自分らしく」生きるとは、どういうことかを児童に考えさせる資料です。

活用にあたっては、次のような場面を想定しています。

- ・ 道徳科の内容項目「個性の伸長」「友情、信頼」（特に、異性への理解）「公正、公平、社会正義」の関連付けた指導を行う。
- ・ 総合的な学習等で、キャリア教育の一環として指導する。
- ・ 学習参観で、保護者も交えた対話を行いながら学習を進めたり、学習内容について児童と保護者が話し合ったりするなどして、家庭との連携を図った取組を行う。

「男女平等教育」学習資料 小学校高学年向け

# 自分らしく

## ①男だから!? 女だから!?

次の1～4の絵を見て、吹き出しの中の言葉を考えよう。

1. けいちゃんは、外料理をめざしているんだって!

2. 国さんって、寝物物が趣味なんだって。

3. 正さんは、パソコンにのりだいたいなんだって!

4. 何で女子になんか負けたんだ!

みなさんの身近にも似たようなことはありますか?

上のような場面について、どう思いますか。みんなで話し合ってみましょう。

新潟市教育委員会

## ②「らしさ」ってなんだろう?

下の絵のように、女子は「女らしく」、男子は「男らしく」と言われたことはありませんか。

ちょっと、お母さんは家事で忙しいのよ! あなたも女なんだから、ゆっくり本なんか読んでないで、手伝いなさいよ!

男は一家の大黒柱にならなければいけないだぞ! ゲームばかりしてないで、お前も将来のことを考えてもっと勉強しなさい!

上の場面について、あなたはどう考えますか。どうしてそう考えるのか、理由も含めて書きましょう。

どういふふうにすることが、自分らしくすることなのでしょうが。

### 1 Pの題材について

趣味や将来の夢など身近な場面で「男だから」「女だから」と偏見が生まれがちな場面を取り上げています。どう答えるかを考えたり、このような場面をどう思うかについて自由に話し合ったりする中で、身近な場面に、偏見や差別があることに気付かせます。

### 2 Pの題材について

家庭でありがちな場面を取り上げています。「家事は女がするもの」「男は一家の大黒柱」という偏見にとらわれず、家族の一員として「自分らしく」貢献することはどういうことかについて、考えさせます。

### ③「わたしらしさ」を大切にするには？

下の絵の子どもたちが、将来の夢について、話し合っている様子を見て、考えましよう。

私は、理科とか数学が好き。将来は、物理学者になりたいな。

僕は、植物栽培が好き。将来は、植物関係の大学に進んで、花屋さんになりたいな。

僕は、花が好きだなんて、みんなよくない？花屋の店員さんなんて、女の人ばかりじゃ！

物理学者のような仕事は、男子の分野ではない？ノール質とかって男の人が多いよね。

これを聞いた友達の声

けいこさん、よしおさんの意見を聞いて、あなたは どう思いますか？

あなたには、どんな「自分らしさ」がありますか？  
みんなが「自分らしさ」を生かしているようにするために、どんなことが大切だと思いますか？

### 自分らしい生き方を選んだ人々

新潟県新井市 運転士 山本麗奈さん

在来線の運転士としていた際に、最新の技術で走っている新幹線を運転してみたいと思うようになって新幹線運転士の試験にチャレンジしました。新幹線は1列車で1,600名以上のお客さまを乗せて走ります。多くのお客さまの命をお預かりしていると考えると、この仕事の責任の重さを感じます。運転中は緊張が続きませんが、たくさんの方がホームや路線で手を挙げてくれる姿を見ると、地域の皆さまに愛されている新幹線運転士でできてよかったと感じます。これからも安全を第一に、お客さま・地域の皆さまの夢や笑顔を乗せて走る新幹線運転士でありたいです。

新潟市南区 看護師 小林一行さん

私が看護師になったのは「人と接する仕事、人のために役立つ仕事が好きでした」と思ったからです。赤ちゃんが元気に産まれていく時の赤ちゃんとお母さんの笑顔を見ると、看護師になって本当によかったと感じます。これからも赤ちゃんが産まれる看護師を目指して、ずっと働きたいと思っています。

◆あなたは、何れどんな仕事をしたいですか？

わたしの夢

◆女の人だけと思っていた仕事

◆男の人だけと思っていた仕事

◆お家の人からコメントを書いてもらいましょう。応援メッセージ

保護者の皆様へ

大人の入り口になった子どもたちは、私たち大人が思いがけない大人社会を体験しています。子どもたちは、自分なりの生きる姿勢の一端を表現し始めています。親御さんには、子どもが表現する姿を「褒めたい」「認めてほしい」という気持ちで受け止めてあげてください。子どもたちは、自分なりの生きる姿勢を表現し、自分の行動を説明する機会のようなものになっています。実はこの時期で、この道徳性を養うには、自分で決断する機会を多く与えることが大切です。子どもは自分の意思を決定していく過程が楽しいです。親御さんには、子どもが自分で決断する機会を多く与えてあげてください。親御さんは、子どもが自分で決断する機会を多く与えてあげてください。子どもは自分で決断する機会を多く与えてあげてください。子どもは自分で決断する機会を多く与えてあげてください。

### 3 Pの題材について

職業に対する偏見や差別について考えることで、自分の趣味や特技を生かした仕事に就くことは「自分らしい」生き方であることに気付くとともに、自分にはどんな「自分らしさ」があるかについて、振り返ります。

### 4 Pの題材について

自分らしい生き方を選んだ人々の事例を通して、男女の差を意識することなく、職業選択の自由があることに気付くとともに、自分が将来就きたい仕事を見直します。保護者からも、その夢に対して励ましてもらいます。

### 1 ねらい

身近な日常場面や職業に関係する偏見や差別について、「男らしく」「女らしく」といった考え方にとらわれず、「自分らしく」生きるとは、どういうことかを考えることを通して、自他の「自分らしさ」を大切にしようとする心情を育てる。

### 2 展開（4時間）

主な活動	留意点
1 「男だから！？女だから！？」 ・絵を見て、吹き出しの中の言葉を考える。 ・資料場面について、学級全体で話し合う。	児童が自由に話し合う中で、身近な場面に偏見や差別があることに気付くことができるようにする。
2 「らしさ」ってなんだろう？ ・「女らしく」「男らしく」と言われることについて考える。 ・家族の一員として、どうすることが「自分らしく」貢献することかを考える。	「女らしく」「男らしく」といった偏見にとらわれず、自分のできることをすることが大切であり、家族の一員として「自分らしく」貢献しようとする心情を高められるようにする。
3 「わたしらしさ」を大切にするには？ ・けいこよしおの意見について考える。 ・みんなが「自分らしさ」を活かせるようにするには何が大切かを考える。 ・自分のもつ「自分らしさ」を振り返る。	けいこ、よしおの認識は、偏見や差別であることを理解するとともに、自分の趣味や特技を生かした仕事に就くことは「自分らしい」生き方であることに気付くようにする。友達の「その人らしさ」も大切にすることを高めるようにする。
4 自分らしい生き方を選んだ人々 ・資料の事例を参考に、「男の人だけ（女の人だけ）と思っていた仕事」を考える。 ・自分の将来の夢を見直す。	男女の差を意識することなく、誰にでも職業選択の自由があることに気付かせ、自信をもって自分の将来の夢を抱くことができるようにする。

# 中学生用「男女平等教育」学習資料

## 「ひとりひとりが活躍できる社会を目指して」

### 活用の手引き

#### 使い方について

本学習資料は、身近な日常場面で起こりうる固定的な性別役割分担の意識があることを気付かせながら、自分の個性や能力を発揮する進路選択の大切さを考えることを通し、「ひとりひとりが活躍できる社会」の実現に向けた男女の平等感を生徒に考えさせる資料です。

活用に当たっては、次のような場面を想定しています。

- ・道徳科の内容項目「個性の伸長」「公正、公平、社会正義」「社会参画、公共の精神」に関連付けた指導を行う。
- ・職場体験活動の事前・事後学習や進路学習等で、キャリア教育の一環として指導する。

「男女平等教育」学習資料 中学生向け

**ひとりひとりが活躍できる社会をめざして**

保護者の皆様へ

**男女がともに自立する力をつけて!**

家族が力を合わせ、それぞれが自立した生活を送ることが、お子さんの将来を広くし、心を豊かにします。これによりお子さんは、ひとりひとりが活躍できる社会の在り方についての考えを深めてくれるのではないのでしょうか。

**男女の平等感はどうでしょうか?**

今日、男女性別平等社会に向けての取組が進められています。このため、中学校生活「男女平等教育」学習資料は、「ひとりひとりが活躍できる社会をめざして」をテーマとしました。

しかし、平等感には男性と女性の間で差が現れます。なぜ、その差が生まれるのか、お互いに議論を深めていくことが必要ではないでしょうか。

●男女の地位の平等感(社会全体で)

性別	男性	女性
平等感がある	44.1%	37.1%
平等感がない	55.9%	62.9%

学校生活において「男女平等」となっている場面は、どんなことがあるだろうか?

上のグラフから、男女平等社会になっていると言えるかな?

新潟市教育委員会

**なぜ? 男性でも女性でも『男性の方が優遇されている』と感じてしまうのだろうか?**

日常生活や社会の中で「男性が優遇されているかも」と感じる場面と、なぜそう感じるかを書いてみよう

男性が優遇されていると感じる場面	そう思う理由

#### 1Pの題材について

学校生活の中では、役割等において男女平等となっていることが多いですが、社会においては、男性の方が優遇されていると感じている割合が多いことを、グラフを読み取ることを通して気付かせます。

#### 2Pの題材について

日常生活から、「男性の方が優遇されている」と感じる場面を想起し、その場面を述べ合います。そして、そのように感じる理由を述べ合うことで、性別役割分担の意識があることに気付かせます。

新潟市では「男女共同参画」を進めています。

「男女共同参画」というのは、男女が互いに人権を尊重し、対等なパートナーとして責任を分かち合い、性別にとらわれることなく自分の個性や能力を発揮できることをいいます。

※「参画」とは話し合いや活動に加わるだけの「参画」と違い、メンバーの一員として考えたり、決めたりすることに積極的に関わっていくことをいいます。

男女共同参画社会の実現に向け、自分の個性や能力を発揮していくことが大切です。そういった意味でも、自分の個性や能力を生かした将来設計や進路選択がとても重要になります。

あゆみさんって、△△工業高校の建築科に行きたいんだって

みどりさんは、将来、どんな職業に就きたいとか考えている？

ぼくは……

私は、医師になりたいと思っています。

私に、どんな職業に就きたいとか考えているの？

幸弘さんって、将来、調理師になりたいから、食料科や生活科に進学したいんだって

### 自分らしい生き方を選んだ人々

都立新潟南高等学校 事務 廣瀬 未来さん

高校生の頃、私が電車内で盗りに遭った時に犯人を捕まえてくれたお礼に心なざらで、私も警察官、中でも刑事になりたいと思っようになりました。

例えば、いつか事件の現場に遭った女性の心に寄り添って事件解決をすることは、女性警察官にしかできない仕事と考えました。それに就いては想像をめぐり、将来の自分を想像することができた時には、被害者の安全と安心を守ることができたらいいなと感じました。現在は、1歳の子どもの保護観察に携わっています。

育児にも仕事にも一生懸命取り組み、充実した毎日を送っています。

都立新潟南高等学校 地域課 伊藤 直人さん

私は、小学生の時に指図が交通信号に違ひのいびきを聞き取ることができ、そのうち交通信号を認識できるようになりました。交、交通信号を認識できるようになりました。交、交通信号を認識できるようになりました。交、交通信号を認識できるようになりました。

自分の個性や能力を生かした進路選択や将来について、学習を通してどのように考えましたか。

家の人から感想やメッセージを書いてもらいましょう。

保護者の皆様へ

都立新潟南高等学校 教務 相庭 裕彦

中学校でどうして男女平等教育を行う必要があるのか、それは子ども一人一人の夢をかきとる必要を感じたからです。中学校の子どもたちは、性別にとらわれずに自分の個性や能力を伸ばすことが大切です。そのために、性別にとらわれずに自分の個性や能力を伸ばすことが大切です。そのために、性別にとらわれずに自分の個性や能力を伸ばすことが大切です。

### 3Pの題材について

自分の個性や能力を發揮していく進路を考えている友人の発言を聞き、その返答を考えることを通して、男女共同参画社会の実現に向け、性別にとらわれることなく進路選択していくことの大切さを気付かせます。

### 4Pの題材について

自分らしい生き方を選んだ人々の事例を通し、自分の意志で職業を選択していくことの大切さ、一つの職業の中にも男性、女性としての役割があることに気付くとともに、保護者からも励ましてもらいます。

#### 1 ねらい

学校や社会における、固定的な性別役割分担の意識があることに気付くとともに、男女の性別にとらわれることなく、個人の能力や個性を發揮して生きていく態度や見方・考え方を身に付ける。

#### 2 展開（2時間）

主な活動	留意点
<p><b>1 男女の平等感について考える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活の想起と社会全体を表すグラフの読み取りから、学校と社会における平等感のズレについて述べ合う。</li> </ul> <p><b>2 生活場面で性別役割分担の意識が根付いていることに気付く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>男性の方が優遇されていると感じる場面とその理由を班や学級全体で述べ合う。</li> </ul>	<p>学校生活においては男女平等になっていることでも、社会では男性の方が優遇されていることを、男性でも感じていることに着目させる。そして、なぜこのような認識になるのか、その場面と理由を述べさせることで、固定的な性別役割分担の意識があることに気付かせる。</p>
<p><b>3 自分の個性や能力を發揮する進路選択に向けて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進路についての会話から、吹き出しに入る言葉を考える。</li> </ul> <p><b>4 自分らしい生き方を選んだ人々</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料の事例を参考に、自分の夢や希望を大切にして進路選択する大切さや、仕事における男女の役割を知る。</li> </ul>	<p>会話文から「男子だから」「女子だから」という職業に対する固定観念ではなく、自分の夢や希望に沿って進路選択することの大切さを気付かせる。また身近な友達にもその人らしさがあることに気付かせ、互いに尊重する気持ちを高めるようにする。</p> <p>自分の意志で就いた職業において、社会における性別特有の役割の存在と、それらを担うことの大切さに気付かせる。</p>

# 自分らしさを育む学校であるために

新潟大学教育実践学研究科  
准教授 中島伸子

今や学校では、男女平等は当たり前のこととして定着している。今更なぜ「男女平等教育」が必要なのか。このように感じる教員の皆さんは少なくないのではないのでしょうか。確かに、男女別を当たり前としてきた従来の教育の習慣について、見直しが見分と進みました。目に見える部分では大きな変化があったと言えるでしょう。

こうした教育を受けてきた世代が社会人として活躍し、子育てに携わる時代となりました。果たして彼らは、性別にとらわれることなく自分らしく生きることができているのでしょうか。必ずしもそうではないのではないかと。私たち委員は、こうした危機感を持ちながら、同時に、今の子どもたちのより良い育ちを願いながら学習資料を作成してまいりました。

子どもたちが性別にとらわれることなく、互いに尊重・協力しあう生き方を身につけるための、「男女平等な」教育環境を作ること。それによって変わっていくのは、子どもたちだけではありません。「男女平等な」教育環境を作る作業は、教育に関わる大人たちに、それまでの生き方の見直しを求めるからです。これまで正しいとされ価値が置かれていたことについて、新たな観点から見直すことは、楽な仕事ではありません。見直しが自分の生き方にまで及ぶとなると、その仕事はますます難しくなります。中でもジェンダーのように、小さな子どもころから生活の中で自然に刷り込まれて、ものの見方や考え方の枠組として機能しているものは、見直すことが特に難しいのです。

でも教師の何げない言動が「隠れたカリキュラム」として子どもたちに大きな影響を及ぼすとあっては、見直すことを避けて通るわけにはいきません。「性別にとらわれた見方をしているのではないか?」「必要もないのに、男女に分けているのではないか?」一つ一つの言動について丁寧に考えていけば、きっと自分を縛っていたジェンダーの存在に気付くに違いありません。ジェンダーの呪縛を緩めて心を柔らかくすること、それが、そして子どもの個性を尊重する教育の実践へとつながると私たちは信じています。

作成 新潟市教育委員会  
新潟市男女平等教育推進研究会